

FRUIT FULL TREE

2014

Vol. 23

JAPANESE RED CROSS

SOCIETY FUKUOKA

PREFECTURAL CHAPTER

THE SPECIAL NURSING HOME

HOUJUN

TOPIX

HOUJYUEN × FAMILY

CARE MEMO

WELFARE MEMO

HOUJYUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

EDITORIAL NOTE

MORE CROSS

WE ARE VOLUNTEER

SPECIAL SECTION



トピックス



子供ボランティア隊 活動開始

前号でもお伝えしていました「豊寿園子供ボランティア隊」の第1回目の活動をデイサービスで行いました。

活動に先立ち、子供たちに登録証お渡ししました。子供たちは「持って帰っていい?」「免許証をもらった!」とそれぞれ大喜びでした。

デイサービスでは、まず、自己紹介と松ヶ江北小学校の校歌披露のあと利用者様と一緒に風船バレーや輪投げのレクリエーションをしました。

自分達が楽しむのはもとより、利用者様に積極的に声を掛けたり、打ちやすいようにやさしく風船を回したりと、いきなりボランティア精神を発揮してくれました。

利用者様も大喜びでいつもはあまり表情が変わらない方もニコニコ笑顔で風船を追いかけました。

後日、活動終了後の子供たちの様子を見守るラブの担当者にお聞きしたところ、「みんな目を輝かせて『楽しかったよ』と話してくれましたよ。」との事で、デイサービスの利用者様、ボランティア隊員共々喜んでもらい、第1回目の活動は大成りに終わりました。

今後も、子供たちがボランティア活動を通して、高齢者の方々と身近に接することができるような活動を定期的に行っていきます。

研究発表会を行いました！

4月25日に、豊寿園の介護職員による研究発表会を行いました。
 今回は、7チームのエントリーがあり、園長・課長による審査の結果、1階介護の早川さん達のチームが優勝しました。



家族会総会が行われました！

6月7日に、豊寿園家族会総会が行われました。総会では、平成25年度の決算報告や、今年度の活動内容と予算等について審議されました。今年度も、前年度同様の活動を行うこと、また、恒例の勉強会については、AEDを用いた救急法や車いすの操作方法を学ぶ内容で計画することが決定しました。また、任期満了に伴う役員改選について審議され、立候補者が不在のため、現役員が再任し、上野三雄様が副会長に昇任、新たに松山初枝様が会計監事に就任されました。

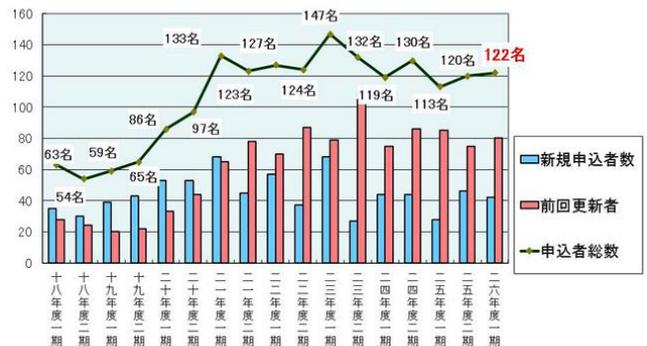
利用者満足度調査へのご協力ありがとうございました！

3月に行いました豊寿園各事業の利用者様を対象とした満足度調査にご協力いただきましてありがとうございました。

どの事業も、各設問に対して「満足」という評価をいただき、職員一同身の引き締まる思いで一杯です。貴重なご意見もいただきましたので、それらについては早速改善に取り組んでまいります。

アンケートの集計結果については、ホームページでもご覧いただけます。

入所待機者が決定しました！



6月1日から11月30日までの豊寿園の待機者が決定し、今回のお申し込みは121名でした。待機状況の進捗は、豊寿園のホームページで確認いただけます。

あなたと向き合った日々

HOUJUNEN × Family



家族会副会長の上野三雄様

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、家族会副会長の上野三雄様です。ご両親と、伯母様が豊寿園に入所されています。そんな上野様在宅での介護についてお話を伺いました。

母は私が定年になれば戻つてくると頑張っていたと思います。

平成15年に父に認知症の症状が出て、母が介護をしていました。その母も当時大分の日田にいた私に、「心臓が苦しい、病院に行くので帰ってきて」と電話をかけてきて、有給を取つて急いで戻ると炊事をしながら「あんたが戻つて来るのを待つ」と言われ、この時、もしかして母も認知症なのかと感じました。

父は見えないものが見えたり、壁の絵をみては、「あれが襲ってくる」絵だと伝えても納得しない。夜中に起きてトイレでない場所で排泄するので、父が起きると急いでトイレに連れて行かなくては行けないので夜もゆつくり休めませんでした。それでも母は、私が定年になれば戻つて来ると頑張っていたと思います。実際に私

が戻つてから、母の状態は急に悪くなり始め、3年後には介護疲れから老人性うつ病を発症しました。この頃の両親は一日寝たきりのような生活でした。まず母を入院させるため、父も一緒に入院させてもらったり、夫婦で病院を転々としていました。

早期退職をするか悩みました

定年まであと少し、早期退職をするか悩んだのもこの頃でした。親戚に父の介護をお願いしたりと家族だけではどうにもならない状況となつていました。平成19年に父が豊寿園のショートステイを利用するようになって、週末に日田から戻り父を豊寿園に迎えに行く生活を始めました。ケアマネさんから介護の仕方など教えてもらつて何とか乗り切っていました。

そのおかげで定年まで勤めることができ、日田から家族全員で引き揚げてきて、実家での介護生活が始まりました。

母の方はその頃もまだ病院を転々としていました。自分は癌だと思ひ込み、腸に癌があるの便が出ない。トイレに行つても「行つてない」と、繰り返してトイレを訴えていました。病院を移る度に、認知症が進んでいる気がしました。



介護で家庭が崩壊しました

一番大変だったのは一緒に介護をしていた妻が介護疲れから精神的に不安定になり、生活が成り立たなくなった時でした。

私自身も脊椎管狭窄症で入院し、介護で家庭が崩壊しました。そのころ父の豊寿園入所の順番が回ってきたときは、本当にほつとしました。

—平成22年でしたね。それから2年半後お母様も入所になりましたね。—

最後まで夫婦で別々の生活をするのかと思つていたので、今両親と一緒にいられるのは、本当に幸せだと思います。また父の妹も昨年入所となり、顔見知りがそばにいることは本人たちも私たち家族にとつても安心できます。理想的だと思つています。

認知症を理解している人に介護されることとが思いを思っています。

—上野さんにとって介護とは？—

認知症という病気が理解できない。認知症に對しどう対応していいのかわからない。そのような状況では介護は成り立たない。介護する者が倒れてしまう。家庭が崩壊してしまうと思います。母が入院していた病院から、母の頻回なトイレの訴えに對して「どうかしてください！」と言われたことがあります。それが豊寿園に来て症状が改善しました。認知症を理解している人に介護されることがいいと思います。

介護しているときは、冗談さえも言えなかった。次は何をしなければと常に考えていて全く余裕がない。笑う余裕もないんですよ。今、両親が職員さんと冗談を言つて笑っている姿を見て本当に感謝しています。

ひとくちメモ

知っておくとひよっとしたら役に立つかもしれない介護や福祉制度についてご紹介します。
今回は、地域交流型デイサービスと熱中症についてです。

熱中症にご注意を！ 当てはまるポイントがあれば、早めにかかりつけ医に相談しましょう。

熱中症とは室温や気温が高い中での作業や運動により、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、身体がだるい、ひどい時はけいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。

高齢者は体温を下げるなどの体の反応が鈍くなっており、自覚がないのに熱中症になる危険があります。(汗を掻きにくい、暑さを感じにくいなど)

☆熱中症予防のポイント

- ・室温28度を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使いましょう。
- ・のどが乾いたと感じたら必ず水分補給！
- ・のどが渇かなくてもこまめに水分補給を！
- ・外出の際体を締め付けない服装で、日よけ対策も！
- ・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！

また、脱水症状から熱中症を引き起こす場合もありますのでご注意ください。

☆脱水症を見分けるポイント

- ・食欲がない。
- ・頭痛や筋肉痛など体のどこかが痛い。
- ・元気がない、居眠りがちである。
- ・多弁あるいは無口になった。
- ・尿、ヨダレ、痰等の量が減った。
- ・便秘になった。
- ・微熱が続く。
- ・指先が冷たい、青白い。
- ・脇の下が乾いている。
- ・口の中が乾いている。
- ・舌の表面に光感がない。
- ・暑いのに汗をかかない。
- ・最近、体重が減少した。

Care Memo

地域交流型 デイサービスをご存知ですか？

家に閉じこもる事を減らして毎日を楽しく、イキイキと暮らしましょう。

今回の福祉一口メモは「地域交流型デイサービス」の紹介です。
これはデイサービスといっても、一般的な介護保険で運営されているサービスではなく、要介護、要支援認定を受けていない自立した65歳以上の方で、閉じこもりがちなどひとり暮らしの方や、要介護状態となる恐れのある方を対象とした北九州市が行っているサービスです。

主な内容としては、介護予防プログラム・食事・介護予防につながるレクリエーション・健康チェックなどです。

実施場所は各小学校区にある市民センターです。費用は食費や原材料費等の実費となります。

申し込み方法や他詳細は各地域の地域包括支援センターや各区役所高齢者・障害者相談コーナーにお問い合わせください。



Welfare Memo

豊寿園 アルバム

春から夏にかけて季節を感じに屋外へ。いつもとちがう場所で、とっておきのお菓子や、飲み物を楽しめばほら笑顔。ご家族と一緒にならよりいっそう輝きます。



開園記念行事でご家族と

6月には、豊寿園の開園17周年の行事として、ご家族を交えて園芸や軽食を楽しみました。普段とちがうお食事やボランティアさんによるひよっこ踊りや詩舞剣舞が花を添えてくれますが、何よりもご家族との和やかな時間がごちそうです。



今年も満開の桜の下で記念撮影

4月には、園内に満開の花を咲かせた桜をたのしみに、利用者様と職員とで花見を行いました。準備しておいた飲み物とお菓子、それと少しだけのアルコールを楽しんだあとは、満開の桜と一緒に記念撮影です。



春風が心地よいピクニック」

5月には、天候の良い日を選んで敷地内のあずま屋にピクニックに。春の心地良い風を浴びながら、みんなで歩いて向かいます。

あずま屋では準備しておいたケーキやプリンなどを楽しみました。



お買いもの「いくらですか？」

6月はあいにくの天気です外に出かけられない日も。そんな時には、園内にお菓子やさんが開店！

園内にいると日頃扱う事の無いお財布を握りしめて、好きな物を買う楽しみ。



古きものと新しいものの共存

門司港レトロにほど近いところに中央市場がある。入口の『CHUOJITIBA』の大きな看板が貿易で盛んだった頃の名残を感じさせる。アーケード内はシャッターが閉まった店が多いが、大正8年に日用品市場が始まりの門司最大の公設市場で、昭和33年に関門トンネルが開通したときにアーケードが作られた、歴史がある市場だ。アーケードのちよと中央に位置するところに今回紹介する『kadoya(仮)』がある。

オーナーの梶田さん(yebisu craft)は、もっと中央市場に住んで、商売して、暮らして欲しい！もっとみんなに興味を持ってもらいたいという思いで、活動している。5年前に花屋の後を自ら改装し『かどや』をopenする。シャッターが閉まる数だけ、リノベーションし新しいお店を開き盛り上げていきたいと頑張っており、中央から奥のアーケードには内装を手掛けた店がいくつかopenしている。

『kadoya(仮)』の、現在の店長は、4人のお子さんを育てている稲田さん。子育てをしながらお店をしているので、休日は不定期。お店に行ってみたらお休みの日もありますが、Openしていたら、なんだか今日はlucky☆って気分になれる。(一応、入口に営業日が記したカレンダーが貼ってあります。)

店長のおすすめは、ナポリタンと手作りのマフィンとスコーン。私はミックス味のスコーンがお気に入り。レトロ散策後は『kadoya(仮)』で、ゆっくりした時間を過ごしてみたいいかがですか？

地域ぶらり情報

古き歴史と共存し...



『 kadoya (仮) 』

北九州市門司区老松町1番11号

営業時間 1100~16:00

休日 不定期



あとがき

日本中で燃え上がるはずだったブラジルワールドカップの夏は、日本代表のグループリーグ敗退という残念な結果で、あっという間に終わってしまいました。

豊寿園では、観戦に熱中しすぎて遅刻するような職員は一人も出ることなく、ひと安心しました。

ブラジルの反対側の日本には本当の夏が到来しそうなこの頃も、豊寿園では平成26年度広報委員を中心に、様々な広報の取り組みを検討しています。

まず、今号からは広報誌の雰囲気や少し見直し、表紙には豊寿園の未来を担う若手職員を紹介するようにしました。今回登場した岡崎さんの他、次号以降も順番に登場してもらいます。勤務中とは違う表情に親しみを感じていただければ幸いです。

その他にも様々な事を計画中ですので、今後も目が離せない？豊寿園の取り組みをどうぞお楽しみに。

平成26年度広報委員 森英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、2階介護職員の、岡崎聖水(おかざきささみ)さんです。

島根県出身で入職2年目の若手職員です。緊張しながらも、写真担当の城戸さんと一緒に撮影にでかけてくれました。

今回のCOVER GIRL

ちかくにあることを意識しはじめると、もっともっとちかづいてみたくなる。ちかくで見るときっとあたらしいことを発見する。

もっと
クロス!
計画



新門司保育所交流会

5月15日、ご近所の新門司保育所の園児さんと交流会を行いました。今年度初めての交流会で、少し遅くなった端午の節句のお祝いを兼ねての催しでした。園児さんのかわいいお遊戯を見せていただいた後は、手遊びなどをとおして触れ合いを楽しんでいただきました。



小森江東小学校で講習会

6月11日、北九州市立小森江東小学校で赤十字救急法の講習を、坂根係長と、荒木係長の2名で実施してきました。受講者は小学校の教員とPTA役員の方々24名でした。心肺蘇生用のデモ人形やAEDのトレーニング機器を使い60分という短い時間でしたが、みなさん真剣な表情で取り組まれました。



門司港レトロ清掃活動

5月17日赤十字統一ボランティアデーの活動として、門司港レトロ地区の清掃活動を行いました。今年度も北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会の皆さんと、豊寿園の職員、家族を合わせた、総勢30名で行いました。約2時間の清掃活動でしたが、軽自動車に乗りきれないほどの量のごみが集まりました。

We are volunteer



豊寿園で活躍するボランティアさんを紹介するこのコーナー。今回は、門司区福祉ボランティア一期会さんのお茶会を紹介します。

この活動は、豊寿園のデイサービスで6月から始まった活動です。活動されているボランティアさんたちは、一期会の八坂会長が講師を務められた、傾聴講座を受講された方々です。

でも、実際に傾聴活動を行おうとした時に、ただお話するだけでは利用者様とのコミュニケーションがうまくいかない場合も多くあります。

そこで、八坂会長の発案で、ボランティアさんの中でお茶の先生をなさっている方がいたのをヒントに、お抹茶を提供し場が和んだところで利用者様とのコミュニケーションをとっていくことになりました。

当日は、お茶の先生がお抹茶を点でて、それを他のメンバーが利用者様にお渡ししていくところから始まりました。

先生のお点前をご覧になっていた利用者様は、「私もお茶を教えてくださいました。」と先生と代わってお点前を披露してくださいるなど、和やかな雰囲気になり、デイサービスの中はお茶の良いかおりが立ち込めて、居心地の良い空間になっていきました。

場が和んだところで、ボランティアさんが利用者様のそばに寄り添い、昔話や、ご家族のことなど、思い思いのお話に花が咲いていました。

この活動は、今後も定期的にデイサービスで行われる予定です。





先頭は
藤松小学校

門司みなと祭り参加

門司区赤十字奉仕団と門司区青少年赤十字加盟校との共同参加

平成26年5月25日(日)に、門司区赤十字奉仕団と門司区の青少年赤十字加盟校の藤松小学校のみなさんと、第71回門司みなと祭りの祝賀パレードに参加しました。

門司みなと祭りは、昭和9年に第1回が開かれ、日本三大みなと祭り(横浜・神戸・門司)とまで言われるほどの盛況をみせる港都門司の長い歴史のある伝統行事です。

今回、門司区赤十字奉仕団 武内幸子委員長より、門司みなと祭りパレード参加についてお話を聞きました。



門司区赤十字奉仕団
武内 幸子委員長

「門司みなと祭り」に出るようになってきたきっかけは、平成17年9月に門司区赤十字奉仕団委員長に就任し、「高齢化による社員の減少」や住民の方たちの自治会離れなどで、「赤十字募金が何に使われているのか」「赤十字ってなあに?」などの声も聞かれ、地域の方たちにもっと赤十字を知ってもらうためにPRが必要と考えました。平成18年から赤十字の思想と普及の広報活動に焦点を絞り、さっそく奉仕団員の全面協力をいただき、大勢が集まる門司みなと祭りパレードに参加しました。目立つ衣装(初めはナースの衣装)をみんなで作り、身近に地域の



特別養護
 老人ホーム
 豊寿園

門司区
 赤十字
 奉仕団



門司区の青少年赤十字加盟校は小学校、中学校が、もう少しで公立校が全加盟となります。そのほか保育園、高等学校なども加盟して頂いています。毎年更新していくことで、「気づき、考え、実行する」という態度目標を身に着け、将来素晴らしい門司区になることと思います。この子供たちの学習を助け、施設で勉強させていただけるのが出来るのも、豊寿園さんがあるからです。地域奉仕団も、豊寿園さんに講師を依頼することが出来ますし、それぞれの校区で、学習に行くこともできます。このように素晴らしい地域に住んで、世界の赤十字と繋がりが学習できることを幸せに感じ、もっともっとボランティアをしながらはと思っています。

方に笑顔で声をかけることで、しっかりと手ごたえを感じました。
 平成20年から3年間、赤十字奉仕団モデル事業を受けることになり、この頃から門司区の特別養護老人ホーム豊寿園さんと一緒に活動できるようになりました。これは私たち奉仕団にとって何よりもうれしいことでした。毎年5月の「門司みなと祭りパレード」は、年に一度の晴れ舞台です。地域の多くの方たちが応援にやってくるので、沿道の方たちの中には奉仕団員一人一人に知った顔があり、花束や声援がたくさん飛びます。「私も入るとよ」「頑張ってください。私たちも血をお願いします」「赤十字です」「募金もよろしく」と。豊寿園さんは園の忙しい仕事の合間に、協力して下さって本当に感謝です。高齢者の多い沿道には、赤十字なら安心という方も多く、豊寿園さんへの期待も大きいと思います。豊寿園さんと奉仕団と青少年赤十字加盟校の学校と一緒に参加でき、本当に心強く感じます。



トピックス
 あなたと向き合った日々
 ひとくちメモ
 豊寿園アルバム
 地域ぶらり情報
 編集後記
 もっとクロス！計画
 WE are volunteer
 特集 門司みなと祭り

2014
 Vol. 23
 JAPANESE RED CROSS
 SOCIETY FUKUOKA
 PREFECTURAL CHAPTER
 THE SPECIAL NURSING HOME
 HOUJUN

豊かな樹